レッスン11

A. お祈りの暗唱と暗記

いつものように、自分が暗記しているお祈りを唱えてから、数人の子がそれぞれ自分の暗記しているお祈りを唱えることでクラスを始めます。それから、子どもたちがレッスン9で習い始めたお祈りの暗記を助けましょう。

B. 歌（前に習った歌の復習を含む）

「長所を見よう」

『一つの海の波』CD、4番

C F7 C G7

優秀――それが目標 でも先はまだ長い

毎日長所を見ると とっても助けになるんだ

だから欠点が見えても この歌では歌わないよ

人にも話さないよ 考えることさえしないさ

＊＜繰り返しの部分1＞

良いところを見るんだ 良いとこだけ見るんだ

みんなも見るんだ 誰でもそうしてほしいから

神さまも僕の 良いとこ見てくださる

＊＊＜繰り返しの部分2）

他人の欠点を見ても 僕が目をつぶるなら

神さまも目をつぶってくださるだろう

（音楽）(C F7 C G)

アブドル・バハは眼を見て 心を読み取られる

人の欠点に気づいても 成長するためのすべを

示してくださる だから 人の欠点が見えても

僕は人には言わないし 自分にさえに言わないよ

<繰り返しの部分1> *<繰り返しの部分2)

<繰り返しの部分1> *<繰り返しの部分2)

* *<繰り返しの部分2)

C. 引用文の暗記

以下の考えを子どもたちと分かち合うことによって、このレッスンのテーマと暗記する引用文を紹介すると良いでしょう。

> 許すことは神の属性の一つです。アブドル・バハは、私たちはいつも互いに許し合わなければならないと言われました。お互いに欠点を見るのではなく、許しの目で見るべきです。アブドル・バハの行動を見習えば、友達がまちがった事をしたときだけでなく、不親切であった人たちでも許すことができるでしょう。許す事ができるようになるため、次の引用文を暗記しましょう。
>
> **… 許しと慈悲、そして、神の寵愛を受ける者の心に喜びをもたらすものをもって自身の飾りとせよ。**[111]

＜慈悲＞

1. 何日も雨が降り続けました。村の川が氾濫しても雨は降り止みませんでした。雨は慈悲を示しませんでした。

2. 神様にお祈りする時、神様は私たちの間違いを許してくださいます。神様は私たちに慈悲を示されます。

＜喜びをもたらす＞

1. アースラちゃんは病気でした。お友だちのエルシーちゃんはお花を持ってお見舞いに来て、長い間アースラちゃんのそばに座りおしゃべりをしました。エルシーちゃんのお見舞いはアースラちゃんに喜びをもたらしました。

2. サンチェス夫人は、仕事のために近くの町に一人で暮らしている夫から長い手紙を受け取りました。その手紙にはもうすぐ家に帰ってくると書いてありました。その知らせは、彼女に大きな喜びをもたらしました。

＜寵愛を受ける＞

1. 先生は生徒たち皆のことを好きで、彼らの一人一人を注意深く世話しました。生徒たちは全員、先生の寵愛を受けています。

D.お話

アブドル・バハがアッカ市に住んでいらっしゃった時のことです。アッカの知事は何度も、バハイ信者たちをいじめようとしました。ある時、知事はバハイたちが暮らしていけないようにするという計画をたてました。知事が警備員たちにすべてのバハイの店に行って、閉めさせ、鍵を知事に持ってくる命令を出しました。しかし、アブドル・バハは、その知事の計画を知って、バハイたちにその日にお店を開けないように忠告して、神様は何をお定めになったか、成り行きを見ましょうと言われました。

警備員たちから、お店は開いていなかったので鍵を取り上げてくることができなかったときかされた時、知事はどんなに驚いたことでしょう。しかし、知事が次の計画を考える時間がないうちに、予想もしなかったことが起こりました。知事の上司から電報が届いて、彼は解雇されることになったのです。という訳で、バハイの友らのお店も閉められることはありませんでした。

その元知事はアッカを出て、ダマスカスという別な都市に行くよう命令されました。元知事は、どうしたらいいか分かりませんでした。元知事はすぐに、一人でアッカを出なければなりませんでした。自分の家族はどうなるのだろう、政府の支援を失った自分を誰も助けてはくれないだろうと思ったのです。しかし、このことをお聞きになったアブドル・バハは、元知事を訪問されました。アブドル・バハは、まるで、この元知事が決してバハイをいじめたことはなかったかのように、不幸な元知事にとても親切にされました。過去に元知事がやったいじわるについては一言もおっしゃらず、むしろ、できるだけの援助をすると申し出られました。元知事は自分がアッカ市を去った後、奥さんと子どもはどうなるかと心配していました。アブドル・バハは彼らの世話を約束されました。その後、元知事の奥さんと子どもたちに信頼のおける人を同行させ、快適な旅を用意して、ダマスカスへ送り出されました。そのために必要な費用は全部アブドル・バハが支払われました。

家族が再び一緒になった時、元知事は大喜びしました。彼はとても感謝して、家族に同伴してくれた人に旅の費用について尋ねました。同行してきた人は、アブドル・バハがすでに払っていると答えました。元知事は、旅の間、家族に示された親切や苦労のお礼として同行人に贈り物を上げようとしましたが、同行人はそれを断りました。自分はただ、アブドル・バハの言いつけに従っただけなので、自分のしたことに何のお礼もいらないと言いました。次に元知事は自分のお客さんとして家に一晩泊まっていくよう頼みましたが、アブドル・バハはすぐに戻ってくるようにと言われたので、自分はその申し付けに従いたいと言って断りました。そこで元知事は、せめてアブドル・バハにお手紙を書く間だけでも待ってくれるようにと頼み、家族に同行した人はそれを受け入れました。同行人がアッカ市に戻って、その手紙をアブドル・バハに渡した手紙にはこう書いてありました。「アブドル・バハ様。私をお許しください。私はあなた様を理解していませんでした。あなた様のことを知りませんでした。あなた様に大変悪いことをしてしまいました。それなのに、あなた様は私に大変よい扱いで返してくださいました」

E. ゲーム: 人から人

子どもたちは手を叩いて、「人から人」と言いながら自由に歩きまわります。先生が「背中と背中」と合図すると立ち止まり、それぞれに相手を見つけて、その子と背中を合わせます。先生の次の合図で子どもたちはもとのように手を叩いて、「人から人」と言いながら歩きまわります。先生が「顔と顔」と合図したら立ち止まって、また相手を見つけて軽く頭を垂れて会釈します。このような二つの合図を繰り返しながらゲームを続けますが、他に、「ひざとひざ」、「ひじとひじ」と言ったような合図を取り入れることもできます。

F. ぬり絵 11

G. 終わりの祈り

… 許しと慈悲、そして、神の寵愛を受ける者の
心に喜びをもたらすものをもって自身の飾りとせよ。